
マリオアドベンチャー 竜の島の冒険

おにぎり君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マリオアドベンチャー 竜の島の冒険

【著者名】

おにぎり君

N6976M

【あらすじ】

カゲの女王を倒して数十ヶ月…

平和に暮らしていたマリオの元へ【ドラゴン・アイラング】からの招待状が届く。

だがその一方で謎の組織【デストラクトル破壊者】が【ドラゴン・アイラング】で

暗躍していた…

果たして彼らの目的は一体…?

マリオ達の冒険が今、幕を開く！

「第1章」第1話 冒険の始まり

『ドラゴン・アイランで行きの船の中…』

マーケット!! 大丈夫か!? ルイージ...」

川　　：酔　　た　　：

アーティスト

ビハーナ

マ「降りるぞルイージ。」

ル「うん…」

[エラム・マヤム]

「……おお…すげえ島た…火山もあるせ…」

川。それにこの島は太古の自然が残った所もあるみたいだよ。

マ「おれの脚とでも言いたい所だなー。」

ル「えーっと...」この島には多種多様な種族がいます。 盗賊の末裔ラ
ブタス...

科学力と武力の種族オヒュピオン…美しい雪の種族ツラワン…深海の秘境に住む謎多きノラチス…」

マ「結構多いな…」

ル「彼らに会いたくなつてきたな…」

?「よおーおー一人さん!あんたがたがマリオとルイージかい?」

マリオとルイージの前に現れるヨッキーに似た者。

マ「えー? ヨッキー! ?」

?「おー一人さん!俺はヨッキーじゃなくてラプタスだよ?まあ、ラプタスはヨッキーの祖先から分岐進化した種族だけじね。」

ル「うわーー貴方がラプタスなんですね! ?」

ベ「ああーついでに俺の名はベロキブルだ!覚えてくれよな…」

マ「ああ!」

ル「うん!」

ベ「で…さつきピンク色の服を着た人からおー一人さんを広場に連れて来てくれと言わてるんだよね…」

マ「もしかして…」

「貴方の持つてイル資料をワタシに渡しナサイ!」

? 「嫌よー！」これは博士から貰つた大事なものよー。」

? 「ならば強制的に貰うであります！」

マ「やめろー！その娘嫌がつて…つてあーつ！」

？「マリオー！？久しぶり！」

マ「クリスチーヌじゃないか！？」

そつー！以前冒険した仲間のクリスチーヌである！

「邪魔をする奴ハ私ガ倒スであります！」

黒い服を着た男がマリオ達の前に立ちはだかる。

マ「こいつは誰だ！？」

ク「えーっと…コイツはテストラクトルの戦闘員よー・彼らは最近活動を始めたらしいわ！

戦闘力は100よー！油断しないほうがいい…」

マ「食らえー・ファイアボール！」

？「ぐああああああああああ…！」

ク「早つー！」

「ええいー！覚えテイルトイイですよー！撤退ですー！」

退散する戦闘団。

『広場』

マ「実はだな..俺この島に招待されて来たんだ。」

ク「へえ...じゃ私とまた冒険しよう。」

マ「ニニゼーーのドラゴン・アイランズに眠る秘宝を探せ!」

第2話へ続く

「第1章」第1話 冒険の始まり（後書き）

いや～初めて「」で小説を書くので所々おかしい所があると思いま
す。

おかしい部分があったときは感想で伝えてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6976m/>

マリオアドベンチャー 竜の島の冒険

2011年1月16日03時10分発行